

# 野幌森林公園クマゲラー斉調査2025

## 調査結果報告 2025年3月31日発行



主催：野幌森林公園を守る会 共催：北海道博物館/野鳥お勉強会 協力：北海道野鳥愛護会

「野幌森林公園クマゲラー斉調査2025」は、昨年のような大雪にはならず、森中は多少湿った雪でしたが調査に支障ない程度と好天気にも恵まれました。

調査参加者は過去最高にせまる116人、例年の札幌や江別近郊の参加に偏りがちな地域イベントとは異なり、とりわけ、小樽、岩見沢、苫小牧などからの道内参加者26人の他、東京や横浜からの4人の道外参加者がみられるなど、道内外30人(26%)という国内イベントの様相を呈しました。ネット時代から当調査の認知度が上がっていることをうかがわせるものとなりました。そして何より無事に調査を終えられたことを嬉しく思います。



写真1. クマゲラの新しい食痕  
写真提供 須田光政さん

### ■調査結果と考察 5～6羽を確認！

クマゲラ確認羽数は、確認場所、目撃と鳴き声、時間、行動等により推定しました。調査の結果、目撃確認は四季美コース周辺の14メッシュでの姿確認1件(写真なし、雌雄不明)で、鳴き声確認は瑞穂連絡線、志文別線-モミジコース、基線-中央線、下野幌線の4エリアの11件でした(図1、図2)。今回は鳴き声の記録が多かったこと、確認分布として園内バランスよく分散していたこと、などがあげられ特徴的でした。これらの情報より確認羽数は5～6羽となりました。これは、コロナ後の2023年調査から微増傾向を示すと

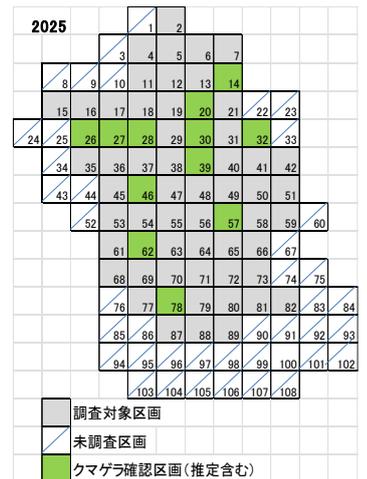


図2. クマゲラ確認メッシュ

### ■調査方法・体制

- 調査日時：2025年3月9日(日曜日)
- 調査時間：11:00～12:00
- 調査方法：500mメッシュ(区画)による確認調査
- 調査人数：116人(一般参加・団体106人、当会スタッフ10人)(写真2)
- メッシュカバー率：61.1%(66/108メッシュ)

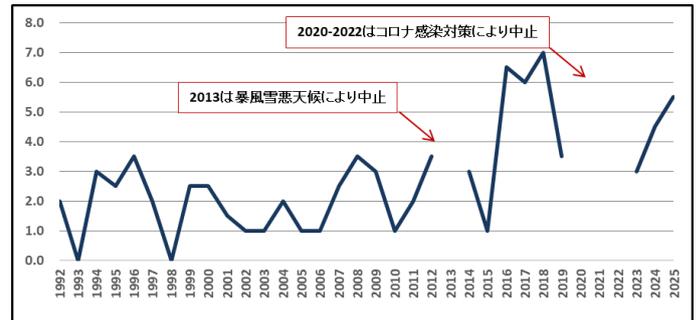


図3. クマゲラ確認羽数の推移

エリア	メッシュ(区画)	確認時間	確認時間					雌雄	目撃	鳴き声	確認数	確認状況など
			10:30	11:00	11:30	12:00	12:30					
四季美コース周辺	14	11:36-12:00				■		不明	○	○	1	一瞬の目撃の後、キョーンとコロコロの鳴き声が繰り返しある。またクイツ声もある
瑞穂連絡線	26	9:59-10:20	■					不明	—	○	1	南東方向でキョーンの鳴き声が繰り返しある
	27	11:08-11:13			■			不明	—	○	1	コロコロ数回鳴く
	28	10:50			■			不明	—	○	1	北方向でキョーンとコロコロが聞こえた後遠ざかる
志文別線-モミジコース	20	11:15-11:56				■		不明	—	○	1	鳴き声がある
	30	11:30				■		不明	—	○	1	北西から東方向へコロコロ鳴きながら遠ざかる
	32	11:35				■		不明	—	○	1	西方向からキョーンとコロコロが聞こえた
基線-中央線	39	11:45				■		不明	—	○	1	北方向でキョーンと一声ある
	46	11:25-11:28				■		不明	—	○	1	南側からコロコロ鳴き2回(ドラミング1回ある)
	57	11:36				■		不明	—	○	1	南南西方向からコロコロの鳴き声がある
下野幌線	(62)	10:00	■					不明	—	○	1	コロコロ数回鳴く
	78	11:51-11:53				■		不明	—	○	1	コロコロ数回鳴いた後にクイーンの鳴き声がある

※メッシュの( )は推定 ■目撃 ■鳴き声

図1. クマゲラー斉調査結果

時に、過年度結果と比べても安定した羽数を維持しているといえます(図3)。また、今年の当会スタッフが行う調査の1月から3月上旬までの確認情報49件(過去最高)からも頷ける羽数であったと考えます。このように、近年クマゲラがこの森で順調に棲息しているのがとても喜ばしいことと実感しています。

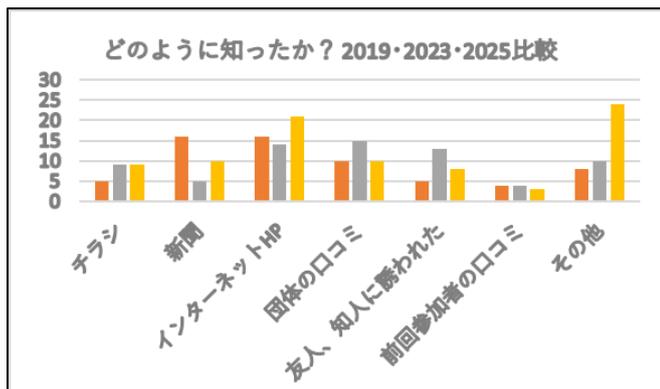


写真2. 調査参加者の皆さん

### ■アンケート集計結果

クマゲラ一斉調査の今後の進め方に反映させることから、過年度と同じ以下ABCの内容でアンケートを実施しました。その結果概要は次のとおりです。

**A「調査をどのように知ったか？(複数回答)」**では、(1)チラシ、(2)新聞、(3)インターネットHP、(4)団体の口コミ、(5)友人、知人に誘われた、(6)前回参加者の口コミ、(7)その他について聞くと、下図のとおりどれも有効な手段ではあったとうかがえます。とくに近年ではインターネットHPが高く、またその他事務局からのメールや前回参加などが目立ち、ネット情報およびリピーターによるインパクトが大きい。



**B「調査などの意見」**では18件のコメントがありました。「事務局の説明案内で分かりやすく楽しく調査ができた」という意見が多い反面で、「現地までのアプローチが不安、苦労があった」、「詳細図にランドマークになる歩道名や座標などの記述がほしい」、「スマホを活用できないか」など、少数ですが調査を行う上での更なる改善点や検討課題も提起されました。

**C 次回調査の案内を希望するか？**では、わずかに「希望しない」があるものの、大半は「希望する」で申し込んだメールに欲しいなどの意見となっています。

### ■お知らせ

#### ①「クマゲラカレンダー2025」大人気に終わる！

昨年度は寄付金から、念願の「日本・世界で初めて？」というクマゲラカレンダー(1000部)を作りました。関係機関への寄贈に加え、自然センターなどの協力を得て無償配布を行いました。その結果、当会の存在とクマゲラおよび自然保護の理解が得られ、多数のお礼メッセージの他、寄付金(カンパ)も寄せられました。こうした取り組みは活動として大切なこととして認識した次第です。第二弾のカレンダーなども検討したいのでアイデアなどをいただけたら幸いです。

#### ②クマゲラ写真展の開催(9月予定)

クマゲラ保護の普及啓発活動の一環として、今年もクマゲラ写真展(第8回)を開催します。開催は9月の約1ヶ月間、野幌森林公園自然ふれあい交流館で予定しています。写真の募集内容の詳細は当会ホームページなどでお知らせします。

#### ③野幌森林公園トイレ問題

昨年3月に野幌森林公園の大沢園地と登満別駐車場のトイレが水回り配管の老朽化により閉鎖されました。森を楽しく歩く利用者にとって極めて重大な問題であり、9月に当会と北海道野鳥愛護会が連名で、所管の林野庁と道庁に対して早期復元の要望書を提出しました。本件については2月1日に北海道新聞(札幌圏版)で問題提起されましたが、私たちは自然環境の保全利用の推進をもとに、今後も可能な限り森の在り方等について要望していきたいと考えています。

★来年のクマゲラ一斉調査は40回目を迎えます。  
3月8日(日)です！参加をお待ちいたします。

野幌森林公園を守る会 事務局  
〒069-0835 北海道江別市文京台南町47-31  
<https://www.facebook.com/nopporoforestparkconservationgroup/>